

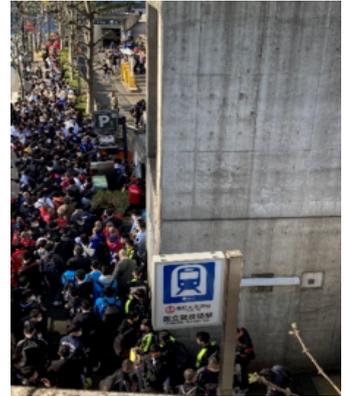
いかに仲間とともに

宮崎
県連
時報

令和2年度JOCジュニアオリンピックカップ第40回全国高等学校空手道大会

全国選抜大会が3月24日(水)~26日(金)の3日間、東京体育館で開催され、私は宮崎西高校の井崎選手の監督として参加いたしました。新型コロナウイルス感染拡大がなかなか終息しない状況の中で全国大会を開催するという事で、感染拡大防止策として入館前の検温はもちろんのこと、競技種目ごとに入場時間を制限したり、2週間分の体温記録表の提出を義務付けたり、さらには事前に入場者を申請していない場合は選手であっても入館できないなど、感染防止策が徹底していました。このような策を講じたために受付がかなり混雑し、入館を待つ選手や監督で東京体育館付近は一般人が往来できないくらいかなり混雑していました。このような規制がかけられていたため、井崎選手がエントリーしている個人形競技が終了するとともに、私と井崎選手はすぐに会場を出なくてはならず、宮崎県選手団の

活躍ぶりを応援することが出来なかったことが残念でした。競技結果については、全国高体連空手道連盟HPのスマホ用QRコードを添付していますので、そのサイトから宮崎県選手団の活躍ぶりをご確認いただきたいのですが、なんと女子個人組手



ー53kg級で宮崎第一高校の橋口妃真莉選手が準優勝という偉業を成し遂げました。大変名誉なことです。全国選抜大会は無事に終了しましたが、あと約2か月後には県高校総体が宮崎海洋高校で実施されます。一日もはやく新型コロナが終息し、県総体会場に応援のみなさまが入館できるような状況になっていることを願うばかりです。

宮崎県高体連空手道専門部 委員長 村上貴志



(第141号)
編集兼発行
宮崎市佐土原町
下那珂 1382-7
宮崎県空手道連盟
広報企画委員会
TEL/FAX 0985-73-7751

